

キャンドルのつどい（CS）

ろうそくの炎を囲み、ゲーム、ソング、ダンス、スタunts等を行うことで連帯感や友情を深めることができ、研修前半で実施すれば緊張をほぐし、親睦を深める効果があり、後半に実施すれば研修のまとめや自己を深く見つめる場になります。

場所	体育館・研修室等	対象	小学生以上
所要時間	1～1.5時間	人数	～200人程度
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	なし	提出書類	教材注文票
経費	燭台用ろうそく：1本250円 手持ち用ろうそく：1本15円		



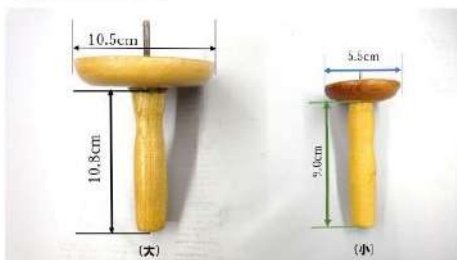
活動の教育的効果	<p>(1) レクリエーションやスタuntsを通し、友情と親睦を深めることができる。</p> <p>(2) 燃える火を見つめながら、自分の心を見つめ直すことができる。</p> <p>(3) つどいの企画や運営を通し、リーダー性や協力性を養うことができる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<p><input type="checkbox"/>個人：軍手、上履き（活動場所による）</p> <p><input type="checkbox"/>団体：CD・音源、ろうそく（レストランに注文、持込み可）、懐中電灯、マッチ、着火棒、衣装（必要な場合）</p>
	交流の家が貸し出すもの
	<p><input type="checkbox"/>杖 <input type="checkbox"/>延長コード <input type="checkbox"/>CDデッキ <input type="checkbox"/>ポータブルアンプ・拡声器</p> <p><input type="checkbox"/>手持ち燭台（大34個・小300個） <input type="checkbox"/>大燭台（保管場所等は備考欄を参照）</p>
備考	<p>大燭台の保管場所</p> <p>（各場所1台、1台10～20本程度のろうそくを配置可能、備え付けのブルシートの上に設置して使用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館（ミーティングルーム） ・剣道場 ・研修館富士会議室 ・ログハウス愛鷹

活動の流れ

キャンドルのつどい（CS）

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	役割分担	<input type="checkbox"/> 役割を分担する。	
	30分	準備	<input type="checkbox"/> 食堂でろうそくを受け取る。 (食堂で購入の場合) <input type="checkbox"/> 会場に大燭台を運び、セッティング	
	5分	安全指導	<input type="checkbox"/> 燭台の釘に注意 (目の高さにある。) <input type="checkbox"/> 火を取り扱う事についての注意喚起	
	60~90分	展開例	<input type="checkbox"/> 第一部 (迎火のつどい) ・ 入場、開会 ・ 歌「遠き山に日は落ちて」斉唱 ・ 聖火入場 ・ 点火の言葉、分火、点火 ・ 歌、閉会 <input type="checkbox"/> 第二部 (交歓のつどい) ・ レクリエーション、スタンツ ・ 歌 <input type="checkbox"/> 第三部 (送火のつどい) ・ 歌「一日の終わり」斉唱 ・ 誓いの言葉 ・ 送火 ・ 歌「今日の日はさようなら」 ・ 退場、閉会	
	20分	片付け	<input type="checkbox"/> 消し忘れがないか確認する。 <input type="checkbox"/> 燭台とシートを元の場所へ戻す。 <input type="checkbox"/> 床に落ちたろうそくを片付ける。	消火確認
想定される リスク	<input type="checkbox"/> けが (準備段階で燭台を足に落とす、燭台の釘でけがをする) <input type="checkbox"/> やけど (衣服に火が燃えうつる。ろうそくが皮膚につく) <input type="checkbox"/> 火事 (乾燥期等の天候を最大限考慮する) <input type="checkbox"/> 転倒 (暗闇の中のレクリエーションや出し物)			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> ろうそくの代わりに懐中電灯を使用する (懐中電灯は団体で用意する)。			

燭台(おおよその大きさ)



台(手で持つと...)



体育館(最大22本) ※ミーティングルームにあります。

特別な施設での活動